

令和4年度 事業報告

1 概況

新型コロナウイルスが国内で初めて確認されて以来3年目となった令和4年度は、夏以降、第7波・第8波とみられる感染が拡大しました。これにより、大田区シルバー人材センター（以下、「当センター」という）の事業運営は、引き続き就業活動への影響や地域活動等の縮小・休止を余儀なくされ、コロナ禍前の状況には戻っていません。

しかし、令和4年度全般を振り返ると、社会経済活動に一定の回復基調がみられたことや、様々な制限の緩和について一定の方向性が示されたこともあり、徐々にではありますが、当センターの活動についても明るい兆しが見え始めてまいりました。

このような中であって、令和4年度は、令和4年3月に策定された「第3次中期計画」の初年度として新たな事業計画のもとに動き出した一年となりました。令和4年度事業計画では、後述の6つの基本方針のもとに、8項目の柱を中心として施策が組み立てられています。そして、各施策は単に一つの目標や成果を目指すものではなく、密接に関連し相乗効果を生みながら、シルバー人材センターを発展させることを目指しました。

その一つの例をあげれば、「研修・講座事業及び調査研究事業の拡充」です。当センターの活力の源泉は、会員・職員の人財力（人材力）にあります。会員ひとり一人の学びへの意欲に応え、研修や各種講座の機会を拡大することは、リスクリング（学び直し）による仕事の質の向上に繋がり、長期的にはお客様の満足度を高めることによる発注拡大（就労機会の拡大）に繋がります。さらには会員の参加意欲の向上が、退会防止や新規入会の動機づけにもなることと考えております。

このような考え方に立つ第3次中期計画のもと、各事業を推進してきた結果、シルバー人材センターの活力の源泉ともいえる会員数については、令和4年度末現在3,093人で、前年度末比で67人の増となりました。特に、中期計画においても新規の施策を立ち上げ、力を注いできた女性会員の拡大については、52人の増加となり、成果が挙がっております。つづいて、シルバー人材センター事業の根幹である就業活動の実績については、その指標である契約金額について、請負・委任業務では861百万円、前年度比30百万円の増額となりました。また、シルバー派遣についても、143百万円、前年度比1百万円の増となり、両者を合計した契約金額は、1,004百万円と前年度を31百万円上回りましたが、中期計画の目標にわずかに届きませんでした。令和5年度は、さらに就業開拓に力を注ぐとともに就業を希望する会員とのマッチング精度を高めてまいります。

会員の社会奉仕活動については、屋外での環境美化活動は再開しましたが、屋内で密になる可能性の高いサロン活動については、休止としました。

令和５年度は、第３次中期計画の中間年度となりますが、令和４年度の事業実績により、計画の進捗状況を分析し、遅れの見られる事業については速やかに目標達成に向けた取組み強化を図って参ります。

２ 令和４年度の基本方針

- (１) 就業開拓事業を強化し、会員増強に取り組めます。
- (２) 会員の健康・安全を確保します。
- (３) 会員と地域高齢者との交流の場を整備し、高齢者の生きがいをづくりに取り組めます。
- (４) 会員・職員の資質の向上に努めます。
- (５) 会員、発注者の期待に応える、満足度の高いサービスの提供を目指します。
- (６) D X (デジタルトランスフォーメーション) に取り組めます。

３ 令和４年度の事業実績

＜令和４年度の目標数値と実績＞

項 目	目標数値	実 績
会員数	3,100 人	3,093 人
契約金額 (請負・委任)	885 百万円	861 百万円
契約金額 (派遣事業)	136 百万円	143 百万円
契約金額 (合計)	1,021 百万円	1,004 百万円

＜会員数及び契約金額 (請負・委任) の年度別一覧表＞ (単位：人、千円)

項 目	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
会 員 数	3,191	3,114	3,096	3,026	3,093
契約金額	944,842	919,233	836,766	831,202	861,066

＜令和４年度シルバー派遣事業の実績＞

項 目	派遣実人員	派遣就業 延人員	派遣総賃金	事業所 (センター) 事務委任手数料 (税込)
派遣事業	333 人	23,885 人日	109,604 千円	16,243 千円

４ 事業の重点目標及び事業実施報告

(１) 就業開拓の強化による受託事業の拡大

- ① 就業開拓員を５人に増員し、介護事業所や民間保育所に対して提案型営業に取り組みました。また、新規開拓に併せて、既存発注者訪問を実施し、現契約における問題等の解消に取り組みました。
- ② 就業開拓推進員が、月１回ハローワークを訪問し、担当者と情報交換を行い、地域の求人動向を把握し就業開拓に活用しました。

- ③ 毎月実施している就業開拓員のミーティングに、民間請負業務担当者と派遣業務担当者が参加し情報共有を行いました。
- ④ 7月5日と11月15日に「いきいきしごとステーション」主催の合同就職面接会に参加し、出展企業に対しシルバー事業のPRをしました。

(2) 会員の増加に向けた取り組み強化

- ① 4月より、ホームページで入会説明動画を閲覧できる「Web入会」の運用を開始し、入会希望者の利便性の向上を図りました。年度内にWebを通じた申込みが113件ありました。
- ② 会員増強のため東京都の補助制度を利用し、新聞折込広告チラシを用いた保育補助の会員募集を6月、1月、2月に行いました。また、7月と1月には、未入会者向けに保育補助の講習会を開催し、併せて会員登録を促しました。さらに10月には掲載する写真のモデルに女性会員を多く起用した「会員募集」の新聞折込広告チラシを掲出しました。
- ③ 入会説明・登録会の出張開催を、1月に調布分室、2月にこらば大森寺子屋、3月に千束老人いこいの家で行い27名が参加しました。
- ④ 「ご友人・ご家族ご紹介キャンペーン」としてセンター広報誌にチラシを同封し、会員によるセンターのPR活動を促進しました。
- ⑤ 今年度からの新たな取り組みとして、未就業相談会を7月、10月、1月に実施し、延べ29名が参加しました。
- ⑥ 大田区くすのき園利用者との交流を目的とする菜園（農園）活動については、シルバー農園での活動が評価され、12月に「おおたみんなのつどいプロジェクト実行委員会」より「笑顔大賞」を受賞しました。

(3) 安全就業及び適正就業の徹底

- ① 年間計画に基づき、毎月適正・安全委員会委員による安全パトロールを実施し、就業中の事故防止に努めました。特に、就業会員に対し危険予知（KY）の徹底を図るため、安全就業基準のほか、危険予知テキストの活用を促しました。
- ② 4月と9月の2回、大森警察署の協力を得て自転車交通安全教室を開催し、会員計26名が参加しました。
- ③ 7月に矢口消防署、12月に田園調布消防署の協力を得てAED使用法講習会を実施し、会員計30名が参加しました。
- ④ 「体力測定会」（11月、1月）や「健康運動教室（新規事業）」（11月、12月、2月、3月）を開催し計113名が参加しました。
- ⑤ 1月に健康診断受診調査を実施しました。
- ⑥ 2月に「ヒヤリハット事例集」と「KY自問自答カード」を会員に送付し、会員自らの危機管理意識の醸成を図りました。
- ⑦ 12月と1月に東京労働局（需給調整事業部）による訪問調査が実施され、指摘事項はありませんでした。

(4) 研修・講習事業及び調査研究事業の拡充

- ① 令和4年度から研修体系を再構築し、各種研修等を実施しました。あらゆる職群で必要となる知識（接遇、安全、人権、個人情報保護、非行及びハラスメント防止）を学ぶ「就業基礎研修」を11月と12月に計6回開催し372名が参加しました。
- ② 職群別研修として「マンション清掃・安全研修」「清掃基礎・安全研修」「ハウスクリーニング・安全研修」「植木剪定基礎（低木）研修」を開催しました。
- ③ 会員を新たな就業に結び付けるため、除草、家事援助、マンション清掃の体験就業を実施しました。
- ④ 就業会員の養成と満足度向上を目的にした「就業会員養成セミナー」は、11月に「調理セミナー」、12月に「身だしなみセミナー」、1月に「一般事務セミナー」を実施しました。また、12月から「スマホサロン」を実施しました。
- ⑤ ホームページの会員専用ページに研修ページを開設し、接遇、安全、清掃等の技術に関して学べる環境を整えました。
- ⑥ 1月に公益財団法人ダイヤ高齢社会研究財団の協力で、会員を対象に「より良いセンターづくりのためのアンケート」を実施しました。

(5) 普及啓発事業の拡充

- ① センター広報誌は、センターの活動を広く周知するため毎月1回発行しました。また、会員拡大広報誌として7月号と10月号に会員募集記事を掲載しました。
- ② 蒲田法人会の会報誌に同封する形式で、法人会員に10月号と1月号を送付しました。
- ③ センター広報誌は大田区高齢福祉課を通じて各特別出張所等への配架を依頼しました。
- ④ 10月12日・13日には、下丸子の区民プラザにおいて「おしごと紹介フェア（旧名称：作品展示会）」を開催し、センターのPRを行いました。広報誌やパンフレットを配布し、入会の相談も受け付けました。
- ⑤ 11月5日・6日には「OTAふれあいフェスタ」に参加し、大田区シルバー人材センターのPRを行いました。
- ⑥ YouTubeとセンターホームページに就業紹介動画を5本（薬剤投入業務、マンション清掃業務、たすかるサービス、除草、植木剪定）掲出しました。
- ⑦ 本庁舎のインフォメーション広告、京浜急行バスアナウンス広告を継続して実施しました。また、7月から東急バスの車内ポスターを掲出しました。また、1月10日から2週間、東急線の駅（18駅19ヶ所）でセンターのポスターを掲出しました。

- ⑧ 4月、8月、12月、1月に大田区内の60歳以上を対象としたLINE広告を実施しました。
- ⑨ 大田区の窓口で配布している封筒に、11月からセンターの広告を掲出しました。
- ⑩ センターの15秒PR動画を作成しました。1月からYouTubeとセンターホームページのトップページで公開しました。
- ⑪ 3月13日から17日までの5日間、大田区役所3階のオープンスペースでパネル展を開催しました。

(6) 公益活動の推進

- ① 区民を対象とした老後の生活に役立つ情報を提供するセミナーとして、10月19日に「健康セミナー」を開催し26名が参加しました。
- ② 11月3日に大田区と共催で「プレシニア向け『お金』と『健康』セミナー」を開催し70名が参加しました。

(7) 社会奉仕活動の推進

- ① 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で、上期はイベントが中止になっていましたが、下期は「ポレポレECOまつり」や「嶺町文化センターまつり」等のイベントが再開し、ボランティアで参加しました。
- ② 区内3拠点（こらぼ大森寺子屋、調布分室、蓮沼分室）で週1回、本部会議室で月1回開催していたシルバーサロンは、屋内で密になる可能性が高いため、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から一年間活動を休止しました。

(8) 事業運営の安定化と効率化の徹底

- ① 事務局において、すでに導入している勤怠管理システムの運用を変更し、4月から出張などの旅費交通費の申請をシステム上で行えるようにしました。また7月に在宅用PC、携帯電話を職員に貸与し在宅勤務ができる体制を整備しました。
- ② 会員対象の「就業基礎研修」に職員も積極的に参加しました。また、2月には職員対象に「クレーム対応研修」を実施し、資質の向上を図りました。
- ③ 東京しごと財団主催の研修等に職員が積極的に参加しました。
- ④ 主任職員1名について、都内他センターに短期間（10日）研修派遣を実施し、他センターの先駆的な取り組みを学ぶことにより人材育成を図りました。

5 会員の状況

入会説明・登録会は、コロナ禍により少人数での開催を継続しました。Web入会を利用した入会者が92名となり全体の17.52%を占めました。入

会者は 68 人増加し、退会者は 69 人減となりました。会員数は 67 人増加し、平均年齢は 0.2 歳増となりました。

項 目	令和 4 年度末	令和 3 年度末	前年度比	
会員数	3,093 人	3,026 人	67 人増	102.21%
男性	1,772 人	1,757 人	15 人増	100.85%
女性	1,321 人	1,269 人	52 人増	104.10%
会員の平均年齢	75.2 歳	75.0 歳	0.2 歳増	
男性	75.8 歳	75.6 歳	0.2 歳増	
女性	74.5 歳	74.2 歳	0.3 歳増	

<令和 4 年度末の入退会者数は以下のとおり>

項 目	令和 4 年度	令和 3 年度	前年度比	
入会者数	525 人	457 人	68 人増	114.88%
退会者数	458 人	527 人	69 人減	86.91%

6 事業の実績

(1) 請負・委任事業における受注件数と契約金額

令和 4 年度末の受託件数・契約金額（請負・委任）は、下表のとおりです。「公共」と「民間」の契約金額の比較は、「公共」53.83%（前年度 54.05%）、「民間」46.17%（前年度 45.95%）、前年度比で「民間」が 0.22 ポイントの増加となりました。

項 目	令和 4 年度	令和 3 年度	前年度比	
受託件数	17,660 件	17,196 件	464 件増	102.70%
公共	3,590 件	3,665 件	75 件減	97.95%
民間	14,070 件	13,531 件	539 件増	103.98%
契約金額	861,066 千円	831,202 千円	29,864 千円増	103.59%
公共	463,550 千円	449,242 千円	14,308 千円増	103.18%
民間	397,515 千円	381,960 千円	15,555 千円増	104.07%

(2) シルバー派遣事業における受注件数と契約金額

シルバー派遣事業は、令和 4 年度に 7 年目を迎えました。区立保育園での保育補助業務やスーパー店舗での各種作業、選挙関連業務に加え、新たに民間保育園等での保育補助業務や空港施設での軽作業、病院での事務補助や学校・塾での講師業務等多様な業務を受注しました。着実に実績を積み重ね、令和 4 年度の契約金額は前年度比で 100.67%でした。

項 目	令和 4 年度	令和 3 年度	前年度比	
受託件数	241 件	191 件	50 件増	126.18%
契約金額	142,503 千円	141,554 千円	949 千円増	100.67%

(3) 年間就業実人員

令和4年度の請負・委任就業実人員は1,871人で令和3年度の1,637人と比べ、234人増加しました。なお、シルバー派遣事業のみで就業する会員が181人おり、シルバー派遣事業を含めた就業実人員は2,052人となりました。

(4) 年間就業率

令和4年度の年間就業率は60.49%となり、前年度から6.39ポイント増加しました。また、シルバー派遣事業を含めた年間就業率は66.34%となり、前年度から4.01ポイント増加しました。

※ 就業率：全会員中どれくらいの人が就業したかを示す数値

7 その他の事業実績

(1) 相談事業

原則月3回実施した入会説明・登録会では、「大田区いきいきしごとステーション」の紹介も行い、入会に際して多様な働き方の提案をしました。

未就業相談会には延29名が参加し、就業等に結びました。また、就業に関する相談については、本部及び蒲田分室で随時実施しました。

(2) 独自事業

① カルチャー講座

項 目	令和4年度	令和3年度	前年度比	
受注金額	153 千円	55 千円	98 千円増	278.18%

(3) 高齢者作業所

「こらば大森」の作業室で部品の組み立て・包装作業を実施しました。受注金額は、2,509千円、前年度比で106.09%となりました。

(4) 家事援助・子育て支援事業

コロナ禍のため中止していた家事援助・子育て支援事業説明会「レッツトライ!家事援助!!」を8月より再開しました。合計4回開催し、21名の会員が参加しました。

また、どの様な就業であるかを個人家庭で体験する「体験就業」を随時行い、12名の会員が参加しました。家事援助就業会員向けの、会員同士が気軽に話せる場所「かこサロ」はコロナ禍のため引き続き中止となりました。

家事援助サービス及び子育て支援サービスの受注金額は28,562千円で、前年度比102.48%となりました。

(5) ちょこっとサービス

65 歳以上の高齢者世帯を対象に、ごみ出しや電球交換などの簡単な日常のサービスを行いました。

項 目	令和 4 年度	令和 3 年度	前年度比	
受注金額	758 千円	373 千円	385 千円	203.22%
件 数	166 件	109 件	57 件増	152.29%

8 附属明細書

令和 4 年度事業報告に、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第 34 条第 3 項に規定する「事業報告の附属明細書」として記載すべき事業報告の内容を補足する重要な事項はありません。